

出演◎

大村亘トリオ Omura Ko Trio

大村亘 Omura Ko ドラム、タブラ

永武幹子 Nagatake Mikiko ピアノ

落合康介 Ochiai Kosuke ベース・馬頭琴

畑中明香 Hatanaka Asuka 打楽器

アヤノチエ Ayanochie 和太鼓デュオ

金沢タブラリズムオーケストラ

Kanazawa Tabla Rhythm Orchestra

(市民参加による)

プログラム◎Program

和太鼓《遮二無二》《灯明》

Wadaiko "Shani-Muni", "Toumyo"

ジョルジュ・アベルギス

《決闘》

ザルブを奏でる打楽器奏者のための (1978)

Georges Aperghis: Le Corps À Corps

ヘルムート・オヘリング

《フォックスファイヤー・ドライ》

ヴィブラフォンのための (1993)

Helmut Oehring: Foxfire Drei

大村亘トリオによるジャズ演奏

Jazz performance by Omura Ko Trio

大村亘 新作初演

タブラリズムオーケストラのための (2024 委嘱)

Omura Ko: new work for Tabla Rhythm Orchestra

楽器フェスティバル2024

打楽器

メインコンサート

風が立つ。波は岸を鳴り響かせる。

Omura Ko

Ochiai Kosuke

Nagatake Mikiko

photo.bozzo

Hatanaka Asuka

Ayanochie



12 / 21^土
2024

17:00 開演 (開場 30 分前)

金沢市民芸術村パフォーミングスクエア

(石川県金沢市大和町 1-1)

ミュージック工房が企画する新シリーズ「楽器フェスティバル」、今年度のテーマ楽器は「打楽器」。
メインコンサートでは、ジャンルを超えて、選りすぐりの個性豊かな打楽器と奏者が演奏を繰り広げます。
ドラマー・タブラ奏者の大村亘を中心とするジャストリオや、タブラリズムをベースに市民が参加してつくりあげる新作初演。
打楽器奏者・畑中明香による超絶技巧が冴える現代音楽。
パワフルかつしなやかに和太鼓を操るデュオ・アヤノチエも登場。
これまでの打楽器のイメージを鮮やかに塗り替えながら、新しい響きを紡ぎ出すコンサート。お立ち合ください。

大村亘 Omura Ko

東京生まれ、アメリカとオーストラリアで育つ。シドニー大学、シドニー音大ジャズ科に進学し、オーストラリアの若手の登竜門 Billy Hydes Drumcraft ドラムコンペにおいて優勝。SABIAN CYMBAL とのスポンサー契約を結んだ。横浜 JAZZ PROMENADE、SAPPORO INTERNATIONAL JAZZ FESTIVAL、TOKYO JAZZ、NHK Session 2010-2013、NHK-BS エルムンドなどジャズフェスティバルや番組にも多数出演。2015 年文化庁新進芸術家海外研修員。2018 年にニューヨーク録音されたアルバム Benign Strangers は同年米 Downbeat 誌のベストアルバムの 1 枚に選ばれた。国内では鈴木良雄、小沼ようすけ、中村真、佐藤浩一、西口明宏、松原慶史など様々なタイプのミュージシャンのツアーやレコーディングに参加。これまでにアメリカ、オーストラリア、インド、香港、中国、台湾、韓国、ヨルダン、ルクセンブルグと幅広い活動域を展開。毎年インドに出向き、北インドの伝統打楽器タブラを研鑽中。世界中の音楽家達と交流を深めながら、独創的な音楽創りを試み続けている。2023 年度金沢市民芸術村レジデントアーティスト。

永武幹子 Nagatake Mikiko

5 歳よりクラシックピアノを始め、ヤマハ音楽教室で寄島清美氏に師事。早稲田大学入学後、同大学モダンジャズ研究会、ハイソサエティオーケストラに入り、ジャズに目覚める。ジャズピアノを清水くるみ氏に師事。現在は増尾好秋 (guitar) グループ、酒井俊 (vocal) グループ、峰厚介 (t.sax)、M's Three 等様々なバンドに参加する他、自身のバンド永武幹子 Trio や J.J.Soul、Duo ユニット Jabuticaba をメインに、都内ライブハウスを中心に全国的に活動。

落合康介 Ochiai Kosuke

3 歳からクラシックピアノ、親戚のジャズピアニスト中山静雄の影響でジャズを聴くようになり、ジャムセッションの中でコントラバスを弾く。齋藤徹のコントラバスアンサンブルへの参加をきっかけに、羊の腸で作られたガット弦を扱う。馬頭琴の音色に興味を持ち、モンゴルのゴビ砂漠に滞在し、現地の巨匠たちに学ぶ。台原縄文音楽祭、縄もんセッション、北本市総合公園「みどりとまつり」など地域や生活に根ざした音楽イベントを企画。

チケット (税込)◎全席自由

一般 2500 円、学生 1500 円
当日券 各 500 円増し
高校生以下無料 (要予約)

*学生券、高校生以下無料券は入場の際に学生証等の提示が必要です。
*未就学児の入場はご遠慮ください。



予約◎2024 年 10 月 21 日 (月) 発売開始

金沢市民芸術村事務局窓口 (紙チケット直接販売) 9:00~19:00
金沢市民芸術村アクションプラン HP (当日会場受付にて精算)
<https://www.geimura.com/music/gakki2024/>

畑中明香 Hatanaka Asuka

同志社女子大学音楽科打楽器専攻卒業。同大学音楽学会《頌啓会》特別専修生修了。在学中、日本打楽器協会主催新人演奏会最優秀賞、朝日現代音楽コンクール(競楽IV)第2位入賞。サントリーサマーフェスティバル等に出演後渡独し、カールスルーエ音楽大学にて中村功氏に師事、最優秀にて卒業。2006 年ダルムシュタット国際現代音楽祭クラレニヒシュタイナー賞受賞。2007 年より主にフランス、ドイツにて演奏活動を行う。ハダースフィールド国際現代音楽祭、ドナウエッシンゲン現代音楽祭等に出演。2010 年に帰国、武生国際現代音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ (滋賀) など出演。京都の現代音楽グループ・アンサンブル九条山のメンバーとして、令和元年度大阪文化祭賞奨励賞、音楽クリティック・クラブ賞奨励賞。相愛大学非常勤講師。

アヤノチエ Ayanochie

締太鼓を得意とし、天性のリズム感で様々な音を紡ぎ出す『山本綾乃』。大太鼓を優雅かつ深く響き渡らせる『成田千恵子』による女性和太鼓デュオ。国内はもとより、海外でも数多くの舞台で研鑽を積んできた両者が和太鼓の魅力を十分に引き出し、一期一会の演奏をお届けします。

山本綾乃 Yamamoto Ayano

富山県出身。心技一体を信条に、日本の音・心を伝えるべく太鼓道一筋。世界 25 カ国にて 400 回以上の海外公演に出演。「焔太鼓」所属を経て 2005 年よりソコ奏者。同年女性デュオ「蜻蛉」を、2010 年姉妹デュオ「ヤマモト万歳」を結成。葉加瀬太郎、女子十二楽坊、チェン・ミン、山本寛斎ほか数多くのトップアーティストとショー、テレビ等で共演し、コラボレーションを活発に行う。また、全国の和太鼓グループの作曲・指導、和太鼓コンテストの講師や審査員を務める等、後進の指導にも力を注いでいる。

成田千恵子 Narita Chieko

金沢市出身。浅野太鼓楽器店に入社し太鼓製造に携わる。同時に和太鼓演奏活動を始め、2003 年より「焔太鼓」に参加。世界陸上ヘルシンキ大会開会式やスペイン 5 都市公演、東南アジアツアー、KANSAI SUPER SHOW など、多くの舞台で演奏。白山開山 1300 年には山頂にて、舞・龍笛・和太鼓、トリオでの奉納演奏を行う。大太鼓を中心とした確実な打ち込みと、女性ならではのしなやかさが持ち味。現在はソコ奏者として、さまざまなジャンルとのコラボレーションや、和太鼓の指導も意欲的に行っている。

問い合わせ◎

金沢市民芸術村事務局 (9:00~19:00)

電話 076-265-8300

FAX 076-265-8301

照明：宮向隆 | 音響：清水聖一 | 舞台監督：三浦大 | 協力：K-CUBIC
企画・制作：金沢市民芸術村ミュージック工房 (福永綾子、中埜忠紀)
主催：金沢市民芸術村アクションプラン実行委員会 (公益財団法人金沢芸術創造財団、金沢市)
後援：北國新聞社、北陸中日新聞、MRO 北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、HAB 北陸朝日放送、エフエム石川

Kanazawa Citizen's Art Center
金沢市民芸術村
〒920-0046 石川県金沢市大和町 1-1
<https://www.artvillage.gr.jp>

金沢市民芸術村へのアクセス

- ・金沢駅より JR 線高架に沿って徒歩 20 分
- ・北鉄バス「武蔵ヶ辻・近江町市場」発「香林坊」
經由「新金沢郵便局」行
「大豆田」バス停下車 徒歩 5 分

※本数が限られているため、予め確認の上ご利用ください。

